2010年1月 駐日エチオピア連邦民主共和国大使館

日本と姉妹関係構築へ強い意欲を示すエチオピア都市













エチオピア連邦民主共和国大使館は日本と世界の国々が地方自治体と姉妹都市関係を強化し促進する目的をもつ日本外務省の月刊グローカル通信へ寄稿し大変光栄です。この記事はエチオピアと日本の人々との関係や文化交流の強化の観点から地方自治体や日本都市にエチオピアを紹介しエチオピアと姉妹関係を設立する 奨励を目的としています。

エチオピアは多くのユニークな特徴や他にはない魅力を持った国です。歴史、自然、文化が共に入り混じった国です。エチオピアは、ルーシー(350万年)やセラム(ルーシーより15万年前)の人間の化石が発見されたことから人類発祥の地として誇りを持っています。最近では、古生物学者が新たな完全の人間の化石を発見し、アルディとして知られ440万年前に生存していたと信じられています。8つのUNESCOに登録された世界遺産を有し、壮大な歴史を証明しています。また、エチオピアは植民地化されたことがないアフリカ唯一の国です。

エチオピアは、未だユリウス暦に忠実でありゴレゴリア暦より7年と8ヶ月遅れています。エチオピアの暦は12ヶ月が30日に、13ヶ月目がうるう年により5日もしくは6日に分けられます。エチオピアは独自のアルファベットや進法をもつアフリカ唯一の国です。よって、エチオピアの暦や言語が国のユニークな遺産の一部として形成しています。

エチオピアは多様な文化のるつぼであり、異なった民族や宗教を持つ人々が和を持って共存しています。エチオピアの名声ある運動選手は実に国の偉大な誇りと栄光の源です。1964年の東京オリンピックマラソンでマラソンの記録を打ち破った伝説のアベベ・ベキラ選手の記憶を多くの日本の人々が未だに持たれていることは大変喜ばしことです。

また、エチオピアは畏怖の念を起こさせる海抜4200の起伏の激しいセミエン山から海抜マイナス120のダナキル溝など幅のある地形を有しています。アルタレとして知られているエチオピア北東部にある活火山は自然に関心のある観光客を魅了しています。エチオピアの国立公園やリフトバレーもまた、様々な種に富んだエチオピア固有の動物や植物の宝庫です。

過去20年以上、エチオピアは政治と発展の新たな幕を開けました。多政党による民主の導入は、国の平和と安定の新たな時代の到来を告げています。2010年5月に多政党による民主の導入依頼4回目の連邦下院と地方議会の国政選挙を行います。国は貧困に取組む最大限の努力を行使してきました。過去7年連続で記録されたエチオピアの2桁の経済成長は、国が正しい発展の軌道にのってきた事実を証明します。政府は今後20年で下位中流所得国のランクに入る計画をしています。

エチオピア紹介にあたり上に述べるとともに、エチオピアと日本の長い歴史、豊かな文化における相似点も知って頂きたいです。例えば、伝統的なエチオピアのコーヒーセレモニーは日本の茶道に通じる多くの共通点があります。また、エチオピアと日本は長い外交関係を築いており、過去数年の二国間の高官による交換訪問により、この素晴らしい関係はさらに固いものとなっています。TICADプロセスの枠組みで、日本は多方面でアフリカとの関係の強化に誓約を示しています。地方自治体とアフリカと日本の都市がより親密な関係を育てることは大きな貢献となることは間違いなく、アフリカと日本の人々をより親密にし、連結の確かな土台を作りあげることと信じています。

エチオピア連邦民主共和国大使館より、エチオピアの3都市が関係構築へ強い意欲を示していることをお伝えします。グローカル通信で今後、エチオピアの三都市を紹介できるのを楽しみにしています。











